

玉出中だより

平成29年11月16日
大阪市立玉出中学校
11月増刊号 No.18

2年職場体験学習

11月9日(木)・10日(金)の2日間、2年生は31の事業所にご協力をいただき、「様々な職業を知り、将来の進路決定に役立てる」「実社会に対する認識を深め、自分と社会のかかわりを深く考える」「就労体験することで、実社会のルールを学ぶ」を目的に職場体験学習を実施しました。子どもたちは、それぞれの職場で、働くことの楽しさと厳しさを味わいながら、生き生きと体験学習に取り組んでいました。

この経験が、これから日々の学習に生かされると思います。

ご協力をいただきました事業所の皆様、ありがとうございました。

ミスターードーナツ南海天下茶屋駅店、大阪王将玉出店、餃子の王将玉出店、いおり、千慕里庵、松商、三菱東京UFJ銀行玉出支店、近畿大阪銀行玉出支店、コーナン南津守店、上新電機津守店、ホームズ南津守店、ユニクロ住之江店、近商ストア住吉店、おぐに花店、モービル石油玉出西SS玉出幼稚園、玉出東保育園、玉出西保育園、千本保育所、どんぐり保育園、南津守保育所、玉出小学校在宅介護サポートサービス和田、介護老人保健施設やまき苑、老人ホームつむぎ苑、地下鉄玉出駅西成区役所、西成消防署、西成税務署、西成郵便局、自衛隊大津駐屯地・桂駐屯地



11月21日(火) ダンス発表会に向けて着々

スタジオAX・ダンス出前授業の発表会まで1週間を切りました。各学年とも基本リズムの授業を終え、インストラクターや体育の先生からアドバイスをもらいながら各グループで作品づくりに取り組んでいます。グループの中で意見を出し合い、振付やフォーメーションなど、一つひとつの動きを確認しながら、発表会に向けて作品を仕上げてきています。保護者の方も、ぜひ子どもたちの頑張っている姿を見に来てください。



ダンス発表会 11月21日 体育館

1年	1・2時間目	8:40～10:30
2年	3・4時間目	10:40～12:30
3年	5・6時間目	13:20～15:10

2学期末テスト 11月27日(月)～29日(水)

「為せば成る、為さねば成らぬ何事も、成らぬは人の為さぬなりけり」
期末テストまであと10日です。強い意志を持ってやれば必ず成就する!
やる気の大切さを説いた言葉です。あきらめることなく、全力でチャレンジしましょう。



平成29年度「全国学力・学習状況調査」結果の分析と今後の課題

平成29年4月18日（火）、3年生を対象に実施した「全国学力・学習状況調査」の結果を分析し、本校のこれまでの取組の成果と今後の課題について明らかにしましたので、お知らせいたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一侧面に過ぎません。本校では、他の教科も含め、総合的に子どもの学力向上をめざしています。学校の現状や取組の参考にしていただきたいと思います。

詳しいデータにつきましては、本校ホームページに掲載します。

<http://swa.city-osaka.ed.jp/swas/index.php?id=j762754> （玉出中学校で検索）

結果の概要

	平均正答率				平均無解答率			
	国語A	国語B	数学A	数学B	国語A	国語B	数学A	数学B
玉出中	70.0	60.0	50.0	36.0	5.5	10.8	15.3	24.8
大阪市	74.0	68.0	62.0	45.0	2.9	5.1	7.5	14.5
全 国	77.4	72.2	64.6	48.1	2.4	3.8	6.3	11.7

＜平均正答率・平均無解答率＞

平均正答率においては、全ての教科で全国との差を縮めることができましたが、その差は、依然と大きなものがあります。国語では「書くこと」、数学では「数と式」「資料の活用」の領域で特に課題があり、論理的に考える力に弱点があります。

平均無解答率においても、昨年度よりも減少していますが、全国平均を大きく上回りました。

＜生徒質問紙調査＞

「朝食を毎日食べている」生徒は、昨年より1.1%減少し、全国と比較すると20%近く下回っています。また、「携帯電話・スマートフォンを使う時間」が4時間以上という生徒が昨年度より7%ほど減少しましたが、全国より10%以上も上回りました。徐々に改善傾向はみられるものの生活習慣の課題が浮き彫りとなりました。

また、「自分には良いことがある」「難しいことでも失敗を恐れないで挑戦している」の質問に肯定的に答えた生徒が全国より15%以上下回り、自尊感情の面でも課題が見られました。

今後取り組むべき課題

学習面において、基礎学力の定着とともに、論理的にものごとを考えることや自分の考えを自分の言葉で表現する力を身に着けさせなければなりません。落ち着いた学習環境の定着とともに、一人ひとりの生徒の学習支援が図れるよう、習熟度別少人数授業や複数教員による教科指導、学習サポーターを活用したきめ細やかな指導の充実を図っていきます。また、ICT機器の活用や生徒の興味・関心を引き出す授業、グループ学習を活用し、自分の考えをまとめて「書く」「発表する」機会を多く設ける授業づくりに努めるとともに、教科指導や教育相談活動の内容が充実するよう授業力の向上に努めます。

基本的生活習慣の重要性やスマホ等の使用にかかる問題について、外部講師による出前授業や生徒会活動等を活用して学びの機会を設けるなど、生徒自らが考え、正しい判断ができるよう支援ていきます。

